

情報通信セミナー ～電波利用によるデジタル化と北陸の産業・未来～ を開催



会場の様子



パネルディスカッションの様子



コーディネーター
富山県立大学 工学部 教授
岩本 健嗣 氏



KDDIスマートドローン株式会社
森嶋 俊弘氏



福井県永平寺町 山村 徹 氏



凸版印刷株式会社、ZETAアライアンス
諸井 真太郎 氏

総務省北陸総合通信局（局長 菱田 光洋）は、令和5年7月7日（金）、北陸情報通信協議会（会長 金井 豊 北陸経済連合会会長）との共催により、情報通信セミナー ～電波利用によるデジタル化と北陸の産業・未来～ を金沢市にて開催し、77名が参加しました。

本セミナーは、北陸地域のデジタル化推進に貢献することを目的に、電波を用いた先進的なサービスを展開することにより地域課題解決を進めている自治体や企業の事例を紹介しました。

第1部では、KDDIスマートドローン株式会社 ソリューションビジネス推進2部 部長 森嶋 俊弘氏から「LTE通信×ドローンを活用した地域課題への取組み」について、福井県永平寺町 総合政策課課長補佐 山村 徹氏から「4GLTE・自動運転による地域課題解決」について、凸版印刷株式会社 DXデザイン事業部 スマートシティ推進部 部長であり、かつZETAアライアンス 代表理事 諸井 真太郎氏から「IoT向け通信規格LPWA ZETA活用による社会課題解決」について、それぞれ講演がありました。

第2部では、「デジタル化と北陸の産業・未来」をテーマに、富山県立大学 工学部 情報システム工学科 教授 岩本 健嗣氏がコーディネーターを務める中、第1部の講演者3名によるパネルディスカッションを行いました。コーディネーターから「現場を巻き込む地域課題解決に大事なこと」、「北陸の産業のDXで今一番大事なこと」の質問について、各パネリストが自らの立場や経験に基づいての、デジタル化への対応策やポイントを説明いただきました。会場参加者からも様々な質問が相次ぎました。

本セミナーを通じて、地域課題解決に向けた電波利用の取り組みについて、参加者の理解を深めることができました。